

# ARISAKA

## Business Report

第 **27** 期  
事業報告書

平成16年4月1日から  
平成17年3月31日まで





代表取締役 有坂 順三

### 店舗の大型化・複合化を推進し、さらなる成長を目指します。

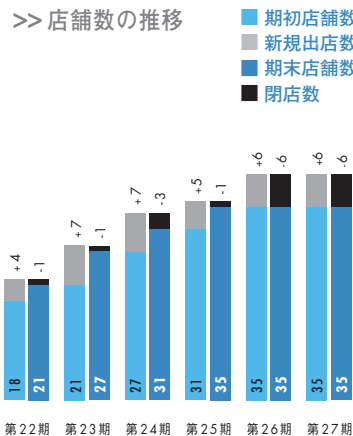
#### >> 店舗効率の向上によって2ケタの売上増を達成。

当期は、オリンピック開催や猛暑と相次ぐ台風の到来に加え、昨年末に発売された携帯用ゲーム機等の影響により、アミューズメント業界にとっては厳しい1年となりました。こうした中、当社は平成16年4月に福岡県糟屋郡新宮町に「ジョイプラザ新宮店」と滋賀県草津市に「アーバンスクエア草津駅前店」を開設。同年10月に茨城県下妻市に「ジョイプラザ下妻店」を、同年12月に兵庫県加古川市に「ジョイプラザ加古川店」をそれぞれ開設しました。また、同年6月と11月に鹿児島県と三重県に共同店舗\*2店を開設しました。この間、不効率店舗6店の閉鎖を行ったことにより、当期末の直営店舗数は31店舗、共同店舗は4店舗となりました。

以上の結果、売上高は67億62百万円(前期比24.1%増)、営業利益は6億55百万円(同4.5%減)、経常利益は4億21百万円(同14.5%減)となり、当期純利益は不効率店の閉鎖に加え、採算性の低い機器および老朽化した既存店舗設備の一部を除却損計上したことにより、一過性ながら特別損失が増加したことから91百万円(同57.2%減)となりました。

#### >> 出店拡大に向けて、市場から資金調達を実現。

当社が今後も拡大を続けていくためには、引き続き財務体質の強化が不可欠です。既存の中小型店舗の閉鎖を行う一方、収益性の高い新規店舗の開設を積極的に展開していく必要があるからです。ただし、新たな設備購入債務の発生を抑えるため、これまでと同様に市場からの資金調達や資産の流動化も視野に入れ、投資効率のよい新規店舗を可能とするため、より多くの出店情報を入手し、調査・厳選し、早期着手することを心がけています。当期は、公募増資によって5億74百万円の資金を調達し、うち3億36百万円は新たな設備投資に充て、残額は借入金の返済に充当いたしました。すでに今期に入りイオン宮崎ショッピング



センター内にアミューズメント施設を出店したのをはじめ、10月にはイオン佐賀ショッピングセンター内にアミューズメント施設を、年末には福岡県筑紫野市に九州最大級となるアミューズメント施設を擁するジョイプラザアーバンポウル筑紫野店を開設いたします。

#### >> 2007年に売上高95億円を目指す。

携帯電話やインターネットの普及により、人と人が直接触れ合う機会が減少しています。ゲームセンターそのもののイメージは、一昔前まではマイナスイメージが強かったものの、最近では明るく健全なふれあいの場として社会的認知が広まっています。今後はコミュニケーションとエンターテインメントを提供する健全な場として、幅広い世代から支持される事業にしていきたいと考えています。当社は上場後、知名度が向上するとともに、社会的な信用力が増大して、良質で低コストの物件情報が早期に得られるようになったほか、優秀な人材が全国で確保できるようになりました。首都圏展開もいよいよ本格化できると踏んでいます。今後はアミューズメント施設でしか味わえない大型機械や最新の機種を多く設置できる大規模な店舗形態を目指し、2007年3月期には95億円の売上達成を目指していきます。

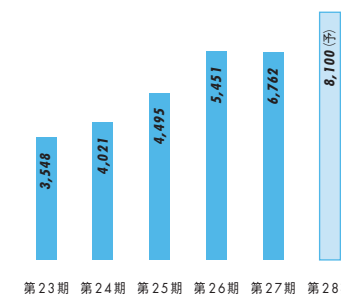
#### >> 株主還元を最重要課題に。

当社は、株主に対する利益還元を最重要課題としており、中間期には1株当たり12.5円の配当を実施しました。また、当期末の株主および実質株主に対して5円増配し、1株当たり17.5円の配当を実施しました。さらに株主優待制度を前期より新設し、毎年3月31日および9月30日現在の株主および実質株主に対し、当社基準により年2回お米券を贈呈いたします。今後も業績に応じて積極的な利益還元を行っていきます。なお、来期の業績は当期に開設した店舗の業績の通期計上と、開設予定の新店舗の業績見込みにより、売上高は81億円(前期比19.8%増)、営業利益は7億52百万円(同14.8%増)、経常利益は4億81百万円(同14.2%増)、当期純利益は2億39百万円(同160.8%増)を予想しています。

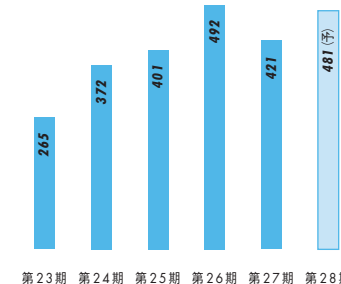
引き続き、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

\*共同店舗：共同事業者との間における売上に応じた歩率契約による店舗

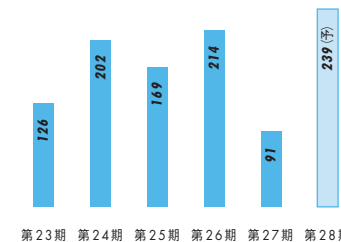
>> 売上高 (単位:百万円)



>> 経常利益 (単位:百万円)



>> 当期純利益 (単位:百万円)



# Review of Operations

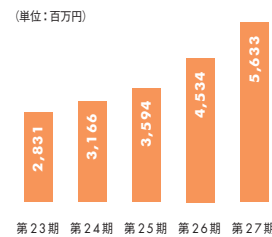
## 事業別営業概況



### ゲーム事業

当社の主力事業として、ゲームセンターの運営を行っています。各メーカーと直接取引を行い、最新の人気機種をいち早く導入しています。より多くの台数を確保することで、売上・集客・固定客づくりを積極的に、地域一番店を目指しています。

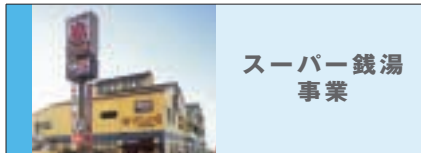
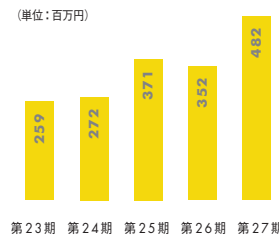
当期は、不効率店舗6店舗を閉鎖しましたが、前期に出店した店舗の通年寄与と新設店舗の売上計上により、売上高は56億33百万円(前期比24.2%増)となりました。平成17年3月末現在34店舗を運営しています。



### ボウリング事業

お客様からお年寄りまで、スポーツ感覚で楽しめるレジャーとして、各事業との複合化を目的に設置運営しています。各種イベント・大会の企画、近隣の会社や団体等へのアプローチ等、積極的な営業活動を行っています。

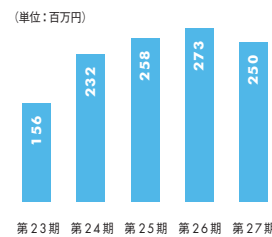
当期は、既存店舗の実績は前年より若干下回りましたが、新設店舗の実績が好調に推移したことから、売上高は4億82百万円(前期比37.0%増)となりました。平成17年3月末現在8店舗を運営しています。



### スーパー銭湯事業

施設の複合化の一環として、平成10年3月に第1号店を開業以来、健康ランド並の浴室構成と雰囲気を持ちながら、料金は銭湯並というリーズナブルなサービスで、幅広い顧客層から手軽なレジャーとして利用されています。

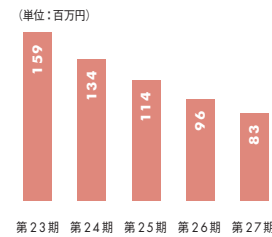
当期は、周辺地域において相次いで温泉施設が開業したことから、競合により売上高は2億50百万円(前期比8.4%減)となりました。平成17年3月末現在4店舗を運営しています。



### カラオケ事業

施設の複合化を目的に設置運営しています。通信カラオケの導入、パーティールームとしての運営など、きめ細かいサービスを行っています。

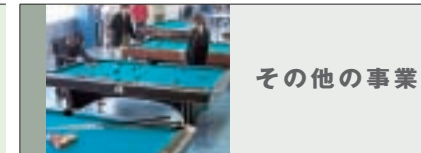
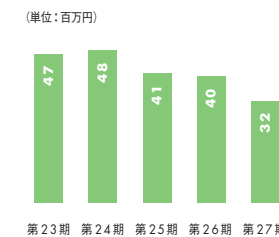
当期は、前期と同様に大手専門店の積極的な市場展開のため厳しい市場環境が続き、競合により売上高は83百万円(前期比13.3%減)となりました。平成17年3月末現在6店舗を運営しています。



### バッティング事業

施設の複合化を目的に設置運営しています。レジャースポーツとして幅広い顧客層から根強い人気がある中、近年は女性や少年野球チームの利用も多くなります。開設時の設備投資以外、新たな設備資金は必要なく、ランニングコストも少ないため、着実な収益を維持しています。

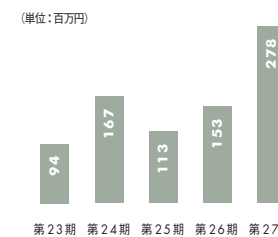
当期は、設備の充実を図り、リピーターの獲得に取り組みましたが、不効率店2店舗を閉鎖したことにより、売上高は32百万円(前期比20.2%減)となりました。平成17年3月末現在2店舗を運営しています。



### その他の事業

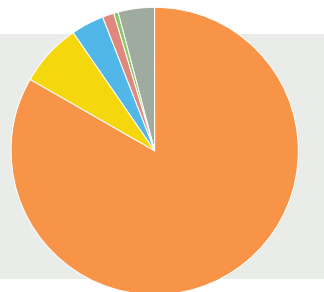
飲食部門は、スーパー銭湯をメインに、スペースを広く取り、ゆったりのんびりできる店作りを心がけています。ビリヤード・卓球部門は、アミューズメント施設に必要なに応じて設置運営しています。機器販売部門はレンタルも含め受注に応じてゲーム機器を販売しています。

当期は、売上高のうち毎期変動が大きく、ゲーム事業に付随した業務である機器売上高が前期比211.3%増となったため、売上高は2億78百万円(前期比81.9%増)となりました。



### >> 事業別売上高構成比

- ゲーム事業 (83.3%)
- ボウリング事業 (7.1%)
- スーパー銭湯事業 (3.7%)
- カラオケ事業 (1.3%)
- バッティング事業 (0.5%)
- その他の事業 (4.1%)



### >> 事業別店舗数 (店)

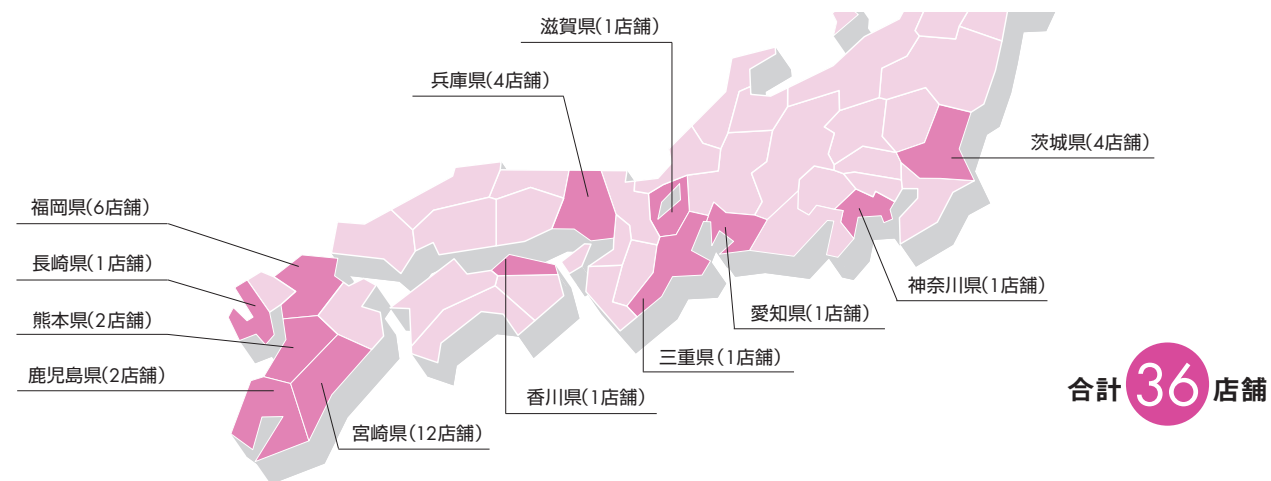
事業名	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
ゲーム事業	27	31	34	34	34
ボウリング事業	5	6	6	5	8
スーパー銭湯事業	3	3	4	4	4
カラオケ事業	6	6	5	5	6
バッティング事業	4	4	4	4	2

### >> 事業別既存店月次売上昨年対比 (%)

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ゲーム事業	97.6	95.3	98.8	108.3	101.7	101.6	97.4	90.1	92.5	89.7	94.0	97.1	90.1
ボウリング事業	95.2	108.6	79.3	88.0	85.5	84.3	85.7	130.7	98.5	101.2	88.0	102.1	91.9
スーパー銭湯事業	95.9	102.3	88.5	98.3	89.9	90.9	98.3	91.0	90.3	89.8	82.4	85.4	91.6
カラオケ事業	85.5	91.5	78.0	89.5	77.2	80.4	85.9	72.1	74.2	77.0	71.1	79.2	80.0
バッティング事業	100.8	101.2	85.3	88.4	78.6	82.8	110.2	94.0	110.6	118.4	105.8	127.4	98.9
その他の事業	220.9	150.4	79.0	89.4	86.6	51.0	62.1	79.2	97.0	251.7	106.1	913.9	217.3
合計	99.6	98.0	95.3	104.3	98.9	96.3	95.9	92.4	92.5	91.9	92.7	128.3	93.6

# Store Information

店舗の状況 (平成17年5月31日現在)



## >> 店舗一覧

(●ゲーム ●ボウリング ●スーパー銭湯 ●カラオケ ●パチンコ ●飲食店等)

宮崎県	宮崎市	アーバンスクエア 一番街店	●				
	宮崎市	アーバンスクエア 宮崎駅前店	●				
	宮崎市	アーバンスクエア バイパス店	●				
	宮崎市	アーバンスクエア イオン宮崎SC店	●				
	宮崎市	パチンコセンターA-1	●	●			
	宮崎市	スーパー銭湯がらっば湯 本郷店	●	●			
	宮崎市	スーパー銭湯がらっば湯 北バイパス店	●	●	●		
	宮崎市	ジョイプラザ 宮崎店	●	●	●	●	
	都城市	都城アーバンボウル	●	●	●	●	
	都城市	アーバンスクエア 都城北店	●				
小林市	小林アーバンボウル	●	●	●	●		
延岡市	スーパー銭湯がらっば湯 延岡店	●	●	●			
福岡県	福岡市	アーバンスクエア 西部スポーツガーデン	●	●			
	飯塚市	アーバンスクエア 飯塚店	●				
	北九州市	アーバンスクエア 小倉店	●				
	久留米市	アーバンスクエア 久留米店	●				
	大川市	アーバンスクエア 大川店	●				
	糟屋郡	ジョイプラザ 新宮店	●	●	●	●	

鹿児島県	鹿児島市	アーバンスクエア 天文館店	●					
	鹿児島市	アーバンスクエア 与次郎店※	●					
	八代市	八代アーバンボウル	●	●	●	●		
熊本県	熊本市	アーバンスクエア 熊本店	●					
	佐世保市	アーバンスクエア 佐世保店	●					
香川県	高松市	アーバンスクエア 瓦町店	●					
	神戸市	アーバンスクエア ダイエーハーバーランド店	●					
		豊岡市	豊岡アーバンボウル	●	●			
		朝来郡	アーバンスクエア 和田山店	●				
兵庫県	加古川市	ジョイプラザ 加古川店	●	●				
	草津市	アーバンスクエア 草津駅前店	●					
滋賀県	津市	アーバンスクエア 津南店※	●					
愛知県	名古屋市	アーバンスクエア 大須店※	●					
神奈川県	横浜市	アーバンスクエア 横浜中華街店※	●					
茨城県	水戸市	アーバンスクエア 50号バイパス店	●					
	水戸市	アーバンスクエア 上水戸店	●					
	水戸市	アーバンスクエア 駅南店	●					
	下妻市	ジョイプラザ 下妻店	●	●				

※印は共同店舗です。

# New OPEN!!

## 新店舗のご紹介

### ★イオン宮崎ショッピングセンター内に、アミューズメント施設をオープン

5月19日、イオン宮崎ショッピングセンター(宮崎市新別府町)に、当社の大型アミューズメント施設「アーバンスクエア」が開店しました。新店舗は約600坪。“南国の果樹園”をイメージした店内は、カップルやアダルト層にフォーカスしたお洒落で落ち着いた雰囲気、最新のスロットマシン、4Dミニシアター、若者に人気のゲーム機「鬼武者3」もあります。立地は幹線道路にも恵まれ、広域からの集客を可能としています。同フロアには、宮崎県初のシネコンやスポーツ専門店、大型書店も出店し、集客の相乗効果が期待されています。



※画像はイメージです。

### ★福岡県筑紫野市に九州最大級のアミューズメント施設をオープンへ

本年末を目標に、福岡市のベッドタウンとして発展する福岡県筑紫野市に九州最大級となるアミューズメント施設を擁する「ジョイプラザアーバンボウル筑紫野店」(仮称)の開設を決定しました。出店する筑紫野ドリームモール(仮称)は、近隣型ショッピングセンターとして同一敷地内にホームセンター、スーパーマーケット、ファミリーレストラン、ファーストフード店が進出する予定です。当社施設は、「屋内遊園地」をコンセプトに、最新機種を導入したアミューズメントコーナー、ボウリングやパチンコセンターなどをもつ複合施設となります。

(単位：千円、端数切捨て)

■ 貸借対照表 (要旨)	第27期 平成17年3月31日現在	第26期 平成16年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,375,239	952,104
固定資産	10,532,272	9,125,116
有形固定資産	9,369,490	8,250,016
無形固定資産	83,581	110,993
投資その他の資産	1,079,200	764,106
繰延資産	11,720	13,600
資産合計	11,919,232	10,090,820
(負債の部)		
流動負債	3,312,627	2,965,756
固定負債	6,052,639	5,170,532
負債合計	9,365,267	8,136,289
(資本の部)		
資本金	922,650	635,150
資本剰余金	920,070	632,910
利益剰余金	705,899	679,506
その他有価証券評価差額金	14,509	7,199
自己株式	△ 9,164	△ 235
資本合計	2,553,965	1,954,531
負債・資本合計	11,919,232	10,090,820

### ■ 資産の部

流動資産は、13億75百万円(前期比44.4%増)となりました。これは主として現金預金と棚卸資産、前払費用が増加したことによります。固定資産は、105億32百万円(同15.4%増)となりました。これは主として新規出店により建物やアミューズメント機器の資産が増えたこと、宮崎市の一歩街店を老朽化のため建替えたことにより、有形固定資産が増えたことによります。この結果、総資産は119億19百万円(同18.1%増)となりました。

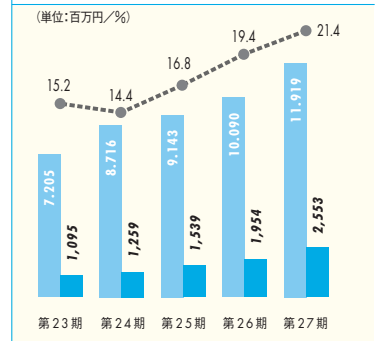
### ■ 負債の部

流動負債は、33億12百万円(前期比11.7%増)となりました。これは主として出店に係る保証金等と設備資金、機器購入資金を調達したことにより、1年以内長期借入金が305百万円増加したことによります。固定負債は、60億52百万円(同17.1%増)となりました。これは主として長期借入金が増加しましたが、社債とリース会社の割賦債務が2億17百万円減少したことによります。

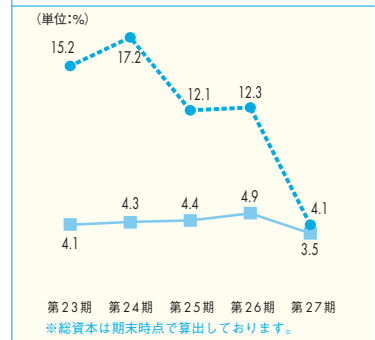
### ■ 資本の部

株主資本は、25億53百万円(前期比30.7%増)となりました。これは主として期末に実施した公募増資50万株により5億74百万円増加したこと、利益剰余金が増加したことによります。

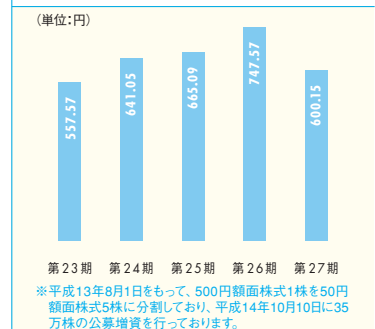
### ■ 総資産 ■ 株主資本 ■ 株主資本比率



### ■ 株主資本当期純利益率 ■ 総資本経常利益率



### ■ 1株当たり株主資本(修正値)



(単位：千円、端数切捨て)

■ 損益計算書 (要旨)	第27期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	第26期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	6,762,171	5,451,060
売上原価	5,587,396	4,316,962
売上総利益	1,174,775	1,134,098
販売費及び一般管理費	519,422	447,530
営業利益	655,352	686,568
営業外収益	111,256	97,933
営業外費用	345,259	291,871
経常利益	421,349	492,630
特別利益	1,507	—
特別損失	251,144	106,283
税引前当期純利益	171,712	386,346
法人税、住民税及び事業税	75,750	180,067
法人税等調整額	4,266	△ 7,729
当期純利益	91,695	214,009
前期繰越利益	624,863	471,716
中間配当額	39,157	34,717
当期末処分利益	677,402	651,008

### ■ 売上高

売上高は、67億62百万円(前期比24.1%増)となり、過去最高売上を更新しました。期中に不効率店舗6店舗の閉鎖や建替工事のため5ヶ月閉鎖した店舗がありましたが、前期に開設した6店舗の売上の通期計上と、当期に開設した6店舗の売上が寄与したものです。

### ■ 営業利益

売上総利益は前期比3.6%の増加になったものの、営業利益は、6億55百万円(前期比4.5%減)となりました。これは主として新規の大型店舗出店に基づく新たな設備投資による減価償却費が大幅に増加したことによります。

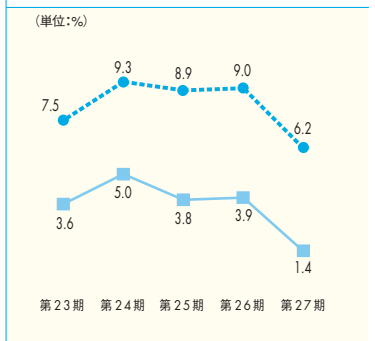
### ■ 経常利益

経常利益は、4億21百万円(前期比14.5%減)となりました。これは、営業利益の減少(前期比4.5%減)を受けたこと、前期に比べ営業外費用が支払利息およびシンジケートローン契約時のアレンジメントフィーにより40百万円増加したことが主な要因です。

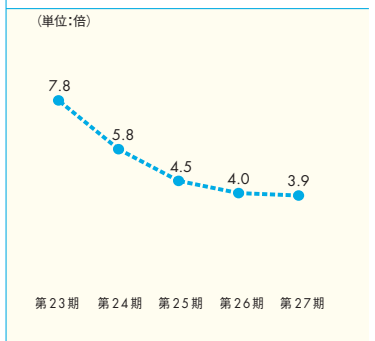
### ■ 当期純利益

当期純利益は、91百万円(前期比57.2%減)となりました。維持管理費用圧縮のため、不効率店の閉鎖に加え、採算性の低い機器および老朽化した既存店舗設備の一部の除却等を実施したことに伴い、固定資産除却損として239百万円を計上したことによります。

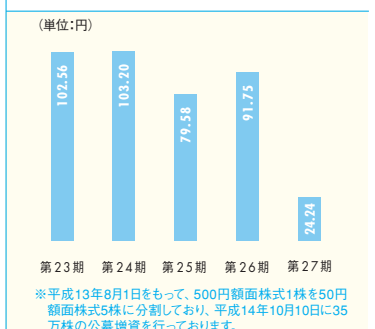
### ● 売上高経常利益率 ■ 売上高当期純利益率



### ● インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業キャッシュ・フロー / 利払い



### ■ 1株当たり当期純利益(修正値)



# Financial Statements

## 財務諸表

(単位：千円、端数切捨て)

■ 利益処分	第27期	第26期
当期末処分利益	677,402	651,008
利益処分額	74,471	26,145
利益配当金	74,471	26,145
	(1株につき 17円50銭)	(1株につき 10円)
次期繰越利益	602,930	624,863

(注) 1.平成16年12月6日に39,157,000円(1株につき12円50銭)の中間配当を実施いたしました。  
2.利益配当金には、自己株式10,072株は含まれておりません。

(単位：千円、端数切捨て)

■ キャッシュ・フロー計算書(要旨)	第27期	第26期
	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	998,004	989,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,211,357	△ 1,491,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,402,203	474,779
現金及び現金同等物の増加額	188,850	△ 27,009
現金及び現金同等物の期首残高	414,074	441,083
現金及び現金同等物の期末残高	602,924	414,074

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前期と比べ8百万円増加し、9億98百万円となりました。この主な要因は、税引前当期純利益額が前期と比較して2億14百万円減少し1億71百万円となり、非資金費用である減価償却費が前期より1億95百万円増加し、7億99百万円となったことおよび店舗閉鎖等に係る固定資産の除却損が前期より2億12百万円増加し2億39百万円となったことと、法人税の支払額1億99百万円による資金の減少等によるものです。

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

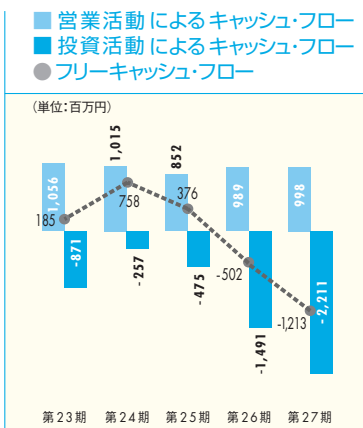
投資活動によって使用された資金は、前期と比べ7億19百万円増加し、22億11百万円となりました。この主な要因は、新規開設店に係る店舗設備等および既存店のリニューアルによる建物等有形固定資産の取得18億97百万円、新規開設店に係る営業保証金の支払等3億83百万円によるものです。

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって得られた資金は、前期と比べ9億27百万円増加し、14億2百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の純増額14億6百万円、公募増資5億74百万円による資金の増加と長期末払金3億31百万円および設備購入支払手形1億50百万円の決済による資金の減少等によるものです。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末より1億88百万円増加して6億2百万円となりました。

+ + + + +  
+ + + + +  
+ + + + +



# Corporate Data

## 会社データ (平成17年3月31日現在)

+ + + + +  
+ + + + +  
+ + + + +

### >> 会社概要

**社名** 株式会社アリスカ  
**設立** 昭和51年10月9日  
**本社所在地** 宮崎県宮崎市本郷北方2485-20  
 TEL. 0985-52-1314 (代表)  
**従業員数** 社員 104名  
 パート・アルバイト 559名  
**事業内容** ・アミューズメント施設の経営・企画・開発および設計・施工  
 ・ボウリング場施設の経営・運営管理  
 ・スーパー銭湯の経営・運営管理  
 ・カラオケシステム施設の経営・企画・運営管理  
 ・パッティングセンター施設の経営・運営管理  
 ・その他アミューズメント施設関連事業  
**事務所** 東京事務所／東京都港区芝5-31-7  
 三田ステーションビルアミタ1003号

### >> 役員 (平成17年6月29日現在)

代表取締役 有坂 順三  
 専務取締役 信安 九州男  
 常務取締役 佐野 勤  
 取締役 山内 政人  
 常勤監査役 田中 博  
 監査役 枅 一生  
 監査役 淵 公紀

### >> 株式の状況

会社が発行する株式の総数	7,860,000株
発行済株式の総数	4,265,600株
株主数	3,899名

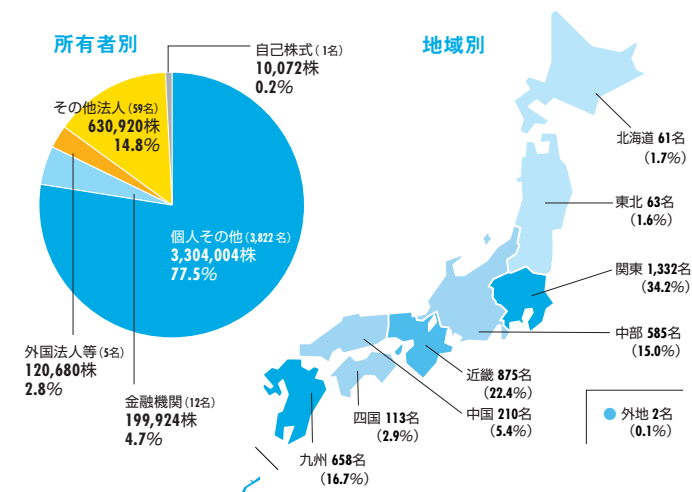
(注) 平成17年6月29日付をもって当社定款第5条を変更し、会社が発行する株式の総数を17,000,000株といたしました。

### >> 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有坂順三	1,094,540	25.7
有坂力	133,300	3.1
オリックス株式会社	129,600	3.0
株式会社宮崎銀行	118,000	2.8
株式会社セガ	115,200	2.7
興和商事株式会社	64,400	1.5
高口優子	62,028	1.5
有坂悦子	62,000	1.5
有坂久美子	62,000	1.5
有坂史	62,000	1.5

(注) 株式会社セガは、平成16年10月1日付で株式会社サミーと共同株式移転方式により、持株会社セガサミーホールディングス株式会社を設立してその完全子会社となっております。

### >> 株主分布状況



株主優待

# 年2回、 おこめ券を 贈呈いたします。

毎年3月31日および9月30日現在の株主および  
実質株主の皆様に対し、お米券を年2回、以下の  
基準により贈呈いたします。

## 割当基準日<3月31日>

100株(1単元)以上1,000株未満……3kg相当  
1,000株以上10,000株未満………5kg相当  
10,000株以上………10kg相当

## 割当基準日<9月30日>

1,000株以上………5kg相当



おもに、全国の米穀店、スーパー、コンビニ等でご利用いただけます。

(注)平成17年3月31日現在の内容で記載しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
株主総会	6月下旬に開催
基準日	定時株主総会関係 3月31日 利益配当金支払関係 3月31日 中間配当支払関係 9月30日 その他はあらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 (郵便物送付先) 〒135-8722 東京都東区佐賀一丁目17番7号 (電話お問合せ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	決算を含む公告につきましては、当社の下 記のホームページに掲載いたします。但し、 電子公告によることができない事故その 他のやむを得ない事由が生じたときは、日 本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.arisaka.net/home.html">http://www.arisaka.net/home.html</a>
1単元の株式数	100株

## ■ お知らせ

1. 名義書換請求・単元未満株式買取請求・住所変更等に必要な各用紙  
のご請求は、名義書換代理人の下記の専用ホームページにて出力で  
きます。

<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/> お手続き内容

2. 平成15年4月1日施行の改正商法により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決により再発行を受ける手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人 0120-288-324 (フリーダイヤル)にご照会ください。